

# 特定非営利活動法人 東京YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 会報

## 見守り、支え、伝えあう



私達は、福祉・介護の仕事のゆたかさを広める活動を推進します。

### Contents (目

次)

**2・3 ..... 上半期事業報告**  
各事業の報告をします。

**4 ..... 活動報告**

**I 講師派遣研修**

1) 講師の思い

**5 ..... 2) 施設の研修に寄せる期待「サンフレンズ」様**

**6 ..... II 実習指導者講習会**

1) 講師の思い

2) 受講生の思い

**III 訪問介護員養成研修**

1) 担当者の思い

**7 ..... IV 第三者評価事業**

1) 担当者の思い

2) 新しい評価者の紹介

**8 ... Information** ★講座のお知らせ「発達障がい児・者を支えるーライフステージにそった課題とその取り組み」



会員募集中です！～みんなで会員の輪を広げましょう～

2012年11月1日現在の会員数 **70名** (正会員57名、賛助会員9名、団体会員4団体)

多くの方のご協力により、前回から4名増えました。応援して下さる方を増やし、税制優遇のためにも引き続きお近くの方へ声をかけていただくようご協力をお願いいたします。

**2012年度の会費振込みをお願いいたします。**

年会費●正会員 3,000円/年 ●賛助会員 一口 10,000円/年 ●団体会員 一口 20,000/年

振替用紙を使わなくても振込みはできます (従来と変更ありません) (ゆうちょ銀行と東京三菱UFJ銀行の二箇所あります)

◆株式会社 ゆうちょ銀行 記号 10170 番号 80995501 ※ゆうちょ銀行の口座からお振込みの場合、手数料無料となります。

◆東京三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637会費振込先2箇所とも口座名義は共通です

口座名義 特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター 代表理事 遠藤久江

## 担当 石井須美子

### \*講師派遣事業

8つの社会福祉法人に講師を派遣、継続研修の依頼をいただきました。また、継続研修をする中で、必要に応じて単発研修のご依頼もあり、責任を感じるとともに、研修に取り組む職員の専門職としての成長と、同時に施設全体のケアの質がより高まり、利用者の暮らしの豊かさにつながって欲しいと願い取り組んでいます。

「人、組織の変化や成長には、時間をかけて理念や意識を浸透させてゆく必要がある」ことをモットーとした継続研修は、次年度にむけての目標も考えながら進めています。



千代田区社会福祉協議会からいただいた感謝状。事務局スタッフとともに。

それぞれの施設が大切にしたい理念をどのように共有し、目標に向かって働いてゆくのかを具体的にワークで考えたり、自分たちのケアを振り返りながら知識や技術を確認したり、時には、利用者の立場を改めて体験し振り返ってみることが、効果を上げているように思われます。

高齢者分野、障がい分野、児童養護分野、母子生活支援施設の組織作りのための研修など依頼の幅が広がる中で、研修を担当する講師の幅を広げ、ご協力いただける講師の発掘や育成が課題となっています。福祉施設だけではなく地域で暮らす人達のニーズにも応えていきたいと願い昨年に引き続き地域YWCAの活動もサポートし、地域YWCAが主催する講座に協力しています。講師が企画から参加し、2回の講座を実施しました。内容は、共通テーマ『老後の生活設計に備えて』、1回目「老人ホームの選び方」、2回目「成年後見制度はどんな仕組み」です。駅近くの公共施設での開催であったこともあり、定員をこえる参加をいただきました。これからの人生を考えたい方々にとって、一番の関心事について楽しく学ぶことができ、大変参考になりましたと高い評価をいただいています。

### \*講座・講習

新たな取り組みとして、東京YWCA専門学校卒業生の佐藤香織さんが中心となって訪問介護員研修申請の準備に5月着手10月に認定を受けました。東京YWCA板橋センターを会場に研修が始まり3月終了の予定です。法改正により「訪問介護員養成研修」制度は、今年が最後となります。来年度からは「介護職員実務者研修」に移行するため、今回の実績を踏まえ今後の取り組みについて検討を進め、YWCAならではの養成に携わってまいりたいと考えています。

講座講習の課題は、集客率です。受講者には好評ではあるのですが、「介護福祉士実習指導者講習」「訪問介護員養成研修2級課程」とも募集定員を下回り、約半数のスタートでした。来年度の取り組みについて検討を重ねてまいります。

### \*第三者評価事業

一つの法人から2施設6事業所のご依頼をいただきました。さらに、東京YWCA専門学校卒業生が立ちあげている事業所の評価もさせて頂き、今年度は7事業所の評価活動が実施されました。

専門学校時代から連携させていただいた施設との繋がりを評価事業に引き継ぐことができ、これまで培ってきた信頼関係を更に深めていくことができるように努力してまいります。

来年度は、評価者も増え、評価活動のマニュアルの整理を進めながら、丁寧YWCAらしい評価活動10件以上を目標としたいと思います。また、12月に初めての「評価者の研修」を予定しています。今年の研修実績を踏まえ事業所独自の評価者の育成研修にも力を入れてまいります。



## 2012 年度上半期事業報告

|         |  |   |  |
|---------|--|---|--|
| 講師派遣事業  | 継続研修   | 特養 A<br>特養 B<br>特養 C<br>特養 D<br>特養 E<br>法人 1<br>障害者施設<br>K 区社会福祉協議会   | 課長研修（11 回・2 年目）・中堅職員研修（12 回・3 年研修の 1 年目）<br>初任者研修（14 回）実施中<br>リーダー研修（昨年度からの継続残り 5 回）終了<br>全職員対象月 1 回 2 時間×5 回 終了<br>9 月より「職員育成 3 年計画リーダー研修」1 年目の今年は 13 回の研修計画 実施中<br>9 月より基礎研修（3 回） 実施中<br>10 月よりテーマ別研修（アサーション 3 回・スーパービジョン 2 回）実施中<br>全職員対象の研修 2 回 終了<br>9 月より階層別研修（監督者研修）3 回×2 クール 終了<br>9 月よりリスクマネジメント及び介護技術研修（6 回）実施中<br>（成長分野人材育成奨励金活用）<br>年 2 回（7 月・2 月）の 7 時間研修 実施中（研修 4 年目）<br>自治体の介護保険外高齢者サービススタッフ育成研修年 3 回 実施中 |
|         | 単発研修   | 特養 F（法人 2）<br>特養 G<br>特養 H<br>特養 H（法人 2）<br>特養 J（法人 2）<br>地域 YWCA 1<br>地域 YWCA 2  | 新人研修終了<br>接遇研修 6 月終了<br>9 月 スーパービジョン研修 終了<br>11 月 接遇研修 終了<br>13 年 2 月 コミュニケーション研修 予定<br>10 月 2 回「老後の生活設計に備えて 1・2」終了<br>1 月接遇研修予定   |
|         | 来年度予定  | 有料老人ホーム<br>法人 3<br>法人 4<br>特養 K   | 13 年 4 月開始予定 基礎研修 10 回×2<br>リーダー研修 9 月から 6 回 （成長分野人材育成奨励金活用）<br>13 年研修計画中<br>13 年度実施（リーダー研修）に向け具体的に検討中<br>13 年研修計画中  |
| 講座・講習   | 介護実習指導者講習会<br>社協種別協議会研修への参画<br>ヘルパー 2 級講習<br>公益法人 A 福祉支援財団への協力 | 年 2 回開催 9 月～10 月 15 名参加終了 1 月～2 月現在 17 名応募<br>3 月計画書の提出済<br>ケアサポート板橋との共同事業<br>10 月講習開始 30 名定員 15 名で実施 3 月終了予定<br>11 月 福祉支援国内研修コーディネート 終了  |  |
| 第三者評価事業 | 法人 5<br>法人 5<br>障害<br>評価者養成研修<br>所属評価者研修                       | 特養・ショート 訪問調査 10 月 29 日<br>居宅・グループホーム 訪問調査 10 月 31 日・10 月 22 日<br>特養・ショート 訪問調査 12 月 14 日<br>就労支援 B 型 訪問調査 12 月 3 日<br>4 名終了<br>12 月 11 日予定 |  |

## 1) 講師の思い

### 講師 徳森敬子さん

YWCAがNPO法人としてスタートを切って2年目になります。卒業生として高齢者施設の従事者として、福祉施設で働く方のお手伝いをしたいとの思いで、私も研修会の講師をお受けして1年半が経ちました。

講師陣はYWCA専門学校の頃の先生方と私のような現在も現役現場職員の混成チームです。研修を依頼された施設とは研修会の参加者の職種や経験、研修の目的を確認し、内容を相談して方向性と目指す成果を共有した上で研修内容を作成しています。ですから参加した方々全員が、自分の仕事に役立つ気付きを得て帰ることで、明日から頑張る仕事をしようと元気が出るような展開を意識しています。

徳森敬子さんは東京 YWCA 専門学校ジュニアコース 14 回生。足立区にある法人の特養で介護職、生活相談員、課長職を約 24 年間勤めた。大学で学びたいと退職。大学では、心理社会学科、臨床心理学を専攻。卒業後母校の役に立ちたいと私たちの活動に協力。現在接遇研修、リスクマネジメント研修を一手に引き受けてくれています。特養の生活相談員と講師の 2 足のわらじをはいて頑張ってください。

実際に、都内のいろいろな施設や団体に伺う中で共通点を感じています。それは、各施設の課題の達成そのものではなく、それを取り組む過程で、人間関係やコミュニケーションに不安や迷いがあり、悩んだり躊躇していることが意外に多いということです。「若いリーダーが年配の職員や非常勤職員に注意ができない」「チームで足並みが揃わないが、どのようにチームワークを築いていけばいいか」などです。福祉サービスを利用する方の価値観と共に支援する側も資格や経験の有無年齢の幅が広がっており、良いケアをしようと思えば思う程忙しく人手は不足、職員の広い価値観や異なる意見がまとまりきれず疲れてしまうという悪循環に陥りやすく、モチベーションが上がらないという現状があることです。そのため、私たちは、研修に際し対面のコミュニケーションと自己理解と他者理解を重視しています。

どのようなテーマを依頼されても、知識とスキルの解説の他に、その必要性を実感する根拠をグループで行うワークの中で参加者自身が発見する体験を取り入れています。ワークの中で、学んでいる理論の根拠を体感すると、理論と自分の仕事がリアルに結びつき、研修で得た気付きを自分の仕事にどう活かそうと考え仕事への意欲も高まります。そこに、私が今まで実際に体験してきた福祉現場の成功事例や失敗事例を伝えることで、参加者が自分の気付きに確信を持つことができるので、現場で体験してきたことを、その日のテーマに合わせ少しでも多く伝えることを意識しています。やはり現場の職員は、体験談を食い入るように聞き入ります。私自身、長年の仕事の中で、明確な目標を共有し、職員が一丸となって利用者サービスの向上を目指している時の職員のパフォーマンスの素晴らしさを知っています。参加した皆さんがワークの中での気付きを共有し、チームで答えを探し、成果を共有し達成感を体感するという、研修テーマに対する自分の気付きとチームで行う達成感の2つの成果を得た時の目の輝きは、見ているとすぐわかります。

振り返りシートに「自分の気付きをこんなふうに仕事に活かそうと思う」と書いていただくと参加者にとって意味ある時間になったと実感でき嬉しいものです。これまでの経験を活かし現場に強い研修機関として、今後も心身共に厳しい環境で働く介護現場の方たちの支援ができれば嬉しく思います。



## I 講師派遣事業



### 2)施設の研修に寄せる期待

#### 社会福祉法人 サンフレンズ様

地域住民の方々の活動として、30年以上前から「杉並老後を良くする会」の活動が始まり、後に「友愛の灯協会」「新しいホームを作る会」が合体して、住民立の社会福祉法人「サンフレンズ」が誕生しました。発足当時から抱きつづけている願いを実現させるためにさまざまな事業を展開している法人です。

研修の依頼を受け打合せをさせていただいた時“地域の中で信頼され、地域とともに歩む法人としての原点に戻りたい”と、解決に苦しまれる状況と、職員を思う気持ちを伺い、心が動かされました。

「全体研修」と、「管理監督者研修」をさせていただくことになり、大きな責任を感じながら、取り組ませていただいています。

理事長職務代理兼上井草ふれあいの家所長 藤山邦子氏に、研修への思いを書かせていただきました！

当法人が、YWCA ヒューマンサービスサポートセンターさんに研修をお願いしようと考えたのは、法人内で人権問題があったからです。法人の大きな課題に即して、法人独自の研修を組み立てていくお手伝いをしてくださるYWCAさんの取り組みに惹かれ、今回依頼しました。今回の研修を通して、最も重んじ大事にしたいテーマ『人権』については、「日々のケアそのもの」が人権尊重につながっていることを一人ひとりの職員が考えていって欲しいと思いました。

法人全体の研修（常勤職員全員）「サンフレンズの目指す理念と自己の目標」と監督職（主任・副主任）の研修を終えての職員の感想は、人権について教えられる講義形式ではないので、物足りなく思う職員や「当たり前のことを何故話し合うのか」という意見もあります。しかし、職員は確かに気づき出しています。「自分が日々考えていることや目標を伝えること」、「一緒に働く相手、仲間の話を聞くこと」「自分を知り、他者を知ること」が大事なのだと。研修の間、互いの思い・仕事のことや当たり前のことをゆっくり話すことがなかったと気づいています。そんな一歩が人権の尊重につながっているのだと思います。

それぞれの事業所の監督職を務めている、主任・副主任の方々の研修(管理監督者研修)では、リーダーとしてこれから取り組みたいことを確認する中で、「自分が頑張らなくてはではなく、メンバーに声をかけてゆくことの大切さ、伝えてゆくことの大切さとむずかしさを感じました」「主任だからと言って肩ひじをはっていた自分に気づき、自分らしくあればいいのだと思えました。」「考えたことがないことを考える機会だった」など嬉しい感想をいただいております。

まだ、研修の途中なので結果はこれからです。お役にたてる研修であるようにと願い、取り組ませていただいています。

担当講師 戸田朱美 蛸原まゆみ

★ お役にたてますように！

## Ⅱ 実習指導者講習会

### 1) 講師の思い

「介護実習指導者講習会」を今年も開催しています。介護福祉士の育成に欠かせない現場実習。その指導の鍵となる実習指導者の育成です。

「介護の基本」「実習指導の理論と実際」から始まる講習会。すでに現場で指導的立場にある受講生が介護の原点を振り返り、どの様な人材を育成しなければならないかを再認識。日々業務に忙殺され、忘れかけていた自分達の仕事(資格)への思い・誇りを思い出し後任育成の大切さを実感するという感想が多く寄せられています。

介護過程の展開やスーパービジョン等具体的な手法の理解は介護福祉士の専門性の認識を更に高め、自分達が自己研鑽する事の大切さを痛感。実習指導の実際で具体的な指導内容・方法を確認します。

全て講義と演習を取り入れた内容でロールプレイを通して実習生の立場で考えることが出来たり、他の受講生と話し合い、互いの施設の工夫を学びあえる事もこの講習会の魅力です。

4日間の講習会、現場を良くしていきたいという思いが高まり、実習受け入れの体制を整えていきたい・新人の教育にも活かしたいなど前向きな感想を持って終了します。

人の命と生活に責任を持つ仕事に就くものとして、必要な資質・専門性を持った人材を育てる為に、これからも「人育て」の大切さを皆で確認しあえる講習会でありたいと思います。

担当講師：長尾恵理子(ジュニアコース 22回生)

### 2) 受講生の思い

- ・ 現場で働きながら目の前にいる利用者の方の支援をすることはもちろん業界全体がこの先も継続的に社会に必要とされる現状がありその担い手を育成していくことも自分達の役割なのだと改めて思いました。
- ・ 学生時代に考えていた想いを思い出すことができた。また実習生の思いや考えを理解することができた。
- ・ 研修前は介護福祉士という自覚はあまりなく職場でも活かされることもなくただ資格を持っているだけという感覚でした。研修を通し自分の持っている資格は専門性を高く持ち、技術、知識を常に学び、伝える大きな役割があるのだと意識が高く持てるようになりました。



## Ⅲ 訪問介護員養成研修

### 1) 担当者の思い

ヘルパー研修が始まりました！！

10月18日 東京YWCA板橋センターを研修会場として、当NPO法人主催の【訪問介護員養成研修2級課程】が開講となりました。20代から60代まで幅広い年代の方々15名それぞれの思いを胸に、忙しい時間のやりくりをして研修に参加してくださっています。そして研修担当の私も、毎回2時間以上かけて会場まで通っています。初日の研修終了後に受講者から「楽しかった」という声が聴かれたと後日人づてに耳にしました。とても嬉しく思います。楽しみ・学びを積み重ね、年度末には全員そろって修了証を手にし、ヘルパーとして活躍してくださることを願い、一緒に頑張っけてゆきたいと思っています。

担当 佐藤香織(ジュニアコース 22回生)



講師は会員でもある 鍋田都さんケアワークコース5回生  
ケアは、ベテランですが、ヘルパー講習の講師  
今回デビューです。 堂々としていますよね！



## IV 東京都福祉サービス第三者評価事業

### 1) 担当者の思い

2012年度 東京YWCA 卒業生などゆかりの方4名が第三者評価者養成講座を受講しました！

昨年、通所介護の評価を1件受託し、今年度は10件を目標に進めてきました。  
特養2件、短期入所2件、居宅介護支援サービス1件、  
認知症対応型共同生活介護1件、就労支援B型1件の合計7件の依頼をいただ  
いており、皆様にご協力いただきながら評価活動を進めております。

そんな中、今年度は4名が養成講座を受講しています。現在の登録評価者は14名  
おりますが、そのうち主たる評価者は4名です。

利用者・施設・職員これから利用を希望している皆様の役に立つようにと毎回、試行  
錯誤の連続ですが、主たる評価者を増やし、より内容の充実した評価を行っていきたく  
と考えています。それでは、新しい仲間を紹介します



担当 寺内 真由美 (ケアワークコース8回生)

### 新しい評価者紹介

#### 大庭みづほさん (ジュニアコース1回

生)



「受講前ですが、第三者評価により事業者が利用者本位の福祉サービスを指向し、  
市民には役立つ情報となるよう評価者の

#### 千田知子さん (ジュニアコース3回生)



「第三者評価を受けてよかった。私たちの  
仕事の良い点や改善点を改めて考えるこ  
うができた。」と言われる評価ができる評価  
者を目指します。

#### 谷部順子さん (ジュニアコース7回生)



「6日間の研修も無事終了し、評価実習  
に入ります。研修はハードでしたが、充  
実した内容で改めて評価者としての責務  
の重さを実感しています。」

#### 柴田美花さん (ケアワークコース10回

生)



「より豊かな生活になるように利用者の  
真のニーズを大切に利用者、家族、施設  
職員とひとつひとつの声に向き合い活動



## ❀ 講座のお知らせ ❀

### 「発達障がい児・者を支える一ライフステージにそった課題とその取り組み」

発達障がいのある人が、生涯にわたって安心して暮らしていける社会の実現のために、ライフステージ（乳幼児期～学童期～成人期）における発達の課題と支援を知り、継続した支援をすすめていくことが強く求められています。第一弾は、ライフステージにおける課題と支援を見える化して、理解を深めるための講座です。支援者や発達障害をもつお子さんをもつ保護者の方にお勧めです。

日時 2013年2月16日(土) 10:00～16:30

場所 東京YWCAカフマンホール

費用 資料代1,000円(学生500円)

受講対象 福祉・教育・医療などの現場職員、保護者、大学生、関心のある方

主催 公益財団法人愛恵福祉支援財団

共催 公益財団法人東京YWCA社会福祉事業部

## ❀ 愛恵福祉支援財団 助成金募集のお知らせ ❀

愛恵福祉支援財団は、当NPO法人代表理事遠藤久江が、理事をしている団体です。

●助成対象：社会福祉法人・NPO法人・任意団体等が実施している福祉事業のうち、比較的小規模な施設事業充実のため、障害者支援等で財政的な裏付けのない先駆的な試みや開拓的事業をするための事業

●一法人あたり20万円

●応募期間：2012年11月1日～12月6日

詳細は、愛恵福祉支援財団ホームページをご覧ください！ 問合せ 03-5961-9711 担当 久保様

### ご寄付いただいた方のお名前です。ありがとうございます。(2012年11月現在)

中村 道子      荻原 悦子      大井 妙子      3名（敬称と金額は省略させていただきます。）

#### 編集人のつぶやき

みんな離れて仕事をしているから、なかなかコミュニケーションが取れず苦心。コミュニケーションの大事さと、共有することの大切さに実感。がんばろ…。会報も会員の皆さんとのコミュニケーションにしたいです！ご意見・ご感想・アイデア・お寄せください～♡

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号 東京YWCA会館3階 309室

TEL・FAX 03-6273-7134 E-Mail : [info@ywca-hssc.jp](mailto:info@ywca-hssc.jp) ホームページ :

<http://ywca-hssc.jp/>